

平成30年度 学校関係者評価委員会の報告

学校関係者評価委員会 委員長 黒木 美枝

平成30年度の学校関係者評価の結果、以下のとおり報告いたします。

I 重点目標について

富士中では、重点目標として「時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る」「貢献する行動力を高め、感謝する心をはぐくむ」「心身の健康に努め、満足感の得られる学校生活を実現する」の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。「時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る」では学校関係者評価アンケート生徒独自項目「わたしは、意欲的に学習に取り組み、よく考えようとしている」の肯定的評価75%以上を目標に設定しています。評価は72%でわずかに届きませんでしたが、思わないとした評価が昨年度に比べてわずかに減少しました。また、生徒の「授業の内容はよくわかる」の肯定的評価は80%以上の数値になっています。教員自己評価も高評価であり目標達成は目前と思われます。引き続き生徒自ら考え、課題解決を図ろうとする授業創りをお願いします。

「貢献する行動力を高め、感謝する心をはぐくむ」ではアンケートの生徒独自項目「自分を支えてくれる人々に感謝し、地域に貢献していこうという気持ちが強まった」の肯定的評価80%以上を目指していましたが、アンケート実施時は未実施のボランティア活動もあり、58%の評価になりました。これは、今年度より従来のボランティアポイント制度を廃止した影響もあると思われます。本来のボランティア活動に立ち返った「貢献」と「感謝」を意識した富士中プライドの醸成にはしばらく時間が必要と思われます。今後も地域と連携したボランティア活動や体験活動への啓発を進めて下さい。「心身の健康に努め、満足感の得られる学校生活を実現する」では、Q-U調査における学級生活不満足群に属する生徒の割合を10%以内にするという目標の結果は16%でした。昨年度の結果よりわずかに減りましたが、学校関係者評価アンケートの「毎日の学校生活が楽しい」の項目でも保護者・生徒の肯定的評価は約8割となっており、2割近い生徒は思わないと評価しています。一人ひとりに丁寧な対応が望まれます。

II 地域との連携・協働による教育について

地域運営学校に指定されて10年目になりました。クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、グリーンアカデミー、挨拶運動や代沢地区文化スポーツ交流会等の地域活動・ボランティア活動をとおして、地域との交流を図っています。地域の方々と「出会い」、そこから「学び」「気付く」。出会った人の生き方や地域や社会で起きていることを知ることから、自分の生活や生き方を見つめ直す機会となっています。しかし、「学校協議会や合同学校協議会・学校運営委員会の十分な情報が提供されている」の保護者に関しては4割近くが提供されていないと思っています。「富士中だより」に学校運営委員会からの情報が記載され、学校関係者評価委員会の紹介も記載されました。学校協議会・合同学校協議会についても情報提供が必要と思われます。

III 「世田谷9年教育」で実現する質の高い教育活動の推進

富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。質としては、数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、教員による授業研究・授業観察を実施し、指導方法の工夫を取り組んでいます。併せて各教科において「ICT活用授業」の推進を図っています。アンケートでは生徒・保護者共に約8割の肯定率となっています。量としては、授業時数の確保に努めています。さらに、放課後学習・夏季補習教室や富士サタスタ、区土曜講習会・朝学習(2・3年生)等も定着しています。世田谷9年教育にのっとり小学校3校と富士中とで計画的に小中連携が行われており、活動は継続され、安定しています。「地域との連携について」のアンケート結果では、保護者の「学び舎の活動について、十分な情報が提供されている」の肯定率は下がりました。しかし、生徒の「学び舎の区立小学校との交流が活発である」についての数値

は低いもののプラスになっています。10月には学び舎3校の新入生児童・保護者入学説明会も行われました。生徒だけではなく先生方の交流の機会も増えています。様々な学び舎の取り組みと情報発信の継続を今後もお願いします。また、職場体験学習は2年生を対象に34の事業所の御協力を得て、9月に実施されました。地域社会の実践の場に立つことは、社会の一員としての自覚を促し、社会性や勤労観・職業観が育まれるとともに挨拶や時間を守ることの大切さ等、社会生活を送るために必要なマナー・ルール等を学べる重要な場となっています。さらに、富士中でも「いじめ防止プログラム」を1年生対象に実施しており、重点目標である「時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る」とや「貢献する行動力を高め、感謝する心をはぐくむ」こと、これら「質と量」を大切にする取り組みは、今後も維持に努めてください。また、ゲストティーチャーの講義は毎年工夫されており、進路指導やキャリア教育とともに多面的な成長に欠かせないエッセンスとなっています。しかし部活動について「入りたい部活動がある」は生徒の肯定率は7割で保護者は4割と低い結果でした。現状を含め、これらの部活動について特に保護者に対して説明が必要と思われます。

IV 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

学校運営についてのアンケートでは保護者は8割近い肯定率でした。地域に関しては9割近くでした。「学校公開や保護者会をとおして、学校の様子がよくわかる」の保護者の数値もほぼ8割が肯定的な回答でした。土曜授業日への保護者・地域の参加促進を図る「知らせる取り組み」の継続をお願いします。「教職員について」は生徒・保護者共に昨年よりマイナスの数値ですが、7割以上の肯定率です。「先生は、いつも熱心に指導している。」の生徒の肯定率は85%でした。今後も生徒・保護者の理解を深められるよう更なる努力・工夫が必要と思われます。また、安全管理については、6月に引き取り訓練も行われました。安全確保の向上に向け地域、保護者、学校の共通の認識を更に深めるための工夫・改善の継続を図ってください。ホームページに関しては保護者・地域ともに昨年よりプラスになり、評価は少しずつ改善されています。広報活動や情報発信に引き続き努力をお願いします。また、4月より図書館に専任の図書館司書が着任されました。学校図書館を読書センターと学習センターの両面で機能させていく取り組みも始まっています。学校運営の今後の取り組みに期待します。

V 安心安全と学びを充実する教育環境の整備

まず冷水機寄贈に関してPTAの皆様方に感謝申し上げます。2・3年生の階にも設置の要望は出ていますが、老朽化した1階昇降口冷水機の交換ができました。また、でこぼこだった校庭も12月に整地され平らになりました。体育館棟のトイレも改修されました。まだ未設置の教室へのエアコン設置等、子どもたちが安心・安全な生活ができるよう、施設・設備の充実に向け、引き続きご検討ください。

VI 学校生活全般について

スクールカウンセラーによる相談活動の充実を図る取り組みの認知度は昨年とほぼ同様で、個に応じた対応ができます。「富士中だより」に毎回載っている情報は大人にも役立ちます。カウンセラーへの相談は生徒だけではなく、保護者もできます。また、今年度から夏服のポロシャツ導入もされ、健康面での改善も進みました。さらに、11月～1月末までに冬時間が変更され、ひと月短くなったことで、部活動や生徒会活動の時間の確保に繋がりました。学校全般についての「毎日の学校生活が楽しい」・「自分の通学している中学校が好きである」では、ほぼ8割の生徒が肯定的です。保護者・地域に関しても8割以上でした。学校行事についての「楽しみにしている学校行事がある」では生徒・保護者共に7割以上の評価でした。学校・保護者・地域に見守られ成長していく子ども達の様子が見て取れます。「学校が好きで、友達と一緒に学べるのが楽しい」と思える環境作りや個々への対応になお一層の尽力をお願いします。

VII 学校評価委員会の総合所見

評価委員会としては、まず先生方の日常の努力に感謝いたします。

- 1 教職員による自己評価報告書を見ると、内容も具体的です。学校が地域の学校として意欲的に取り組んでいることが分かります。
- 2 セーフティー教室や情報モラルの授業に関しては、生徒・保護者・地域とも7割以上の評価を得ています。定期的に行われている安全指導や避難訓練、地域との連携による避難所運営訓練、災害時対応などの保護者への情報提供、校内現況や衛生面など、学校の安全性に対しての保護者の数値は昨年よりプラスになっています。保護者・地域の方々とともに、安心・安全な学校づくりへ更なる努力と、密な連携をお願いします。
- 3 生徒たちは富士中が好きで誇りをもっており、楽しく学校生活を送っていることが分かります。「部活動について」「進路に関する情報が十分提供されている」「先生は、誰に対しても公平である」については、今後の工夫と改善の努力を望みます。生徒たちにとって最大の教育環境は教師自身の姿そのものであり、人間としての豊かさや広い分野での教養を求められると思います。学習面でも「質と量の確保」をこれからも続けていただくとともに、生徒たちと向き合う時間の確保にも尽力をお願いしたいと思います。また、各御家庭・地域の皆様におかれましても、手本となる良き家庭環境・地域環境として温かく子どもたちを見守っていただきたいと思います。
- 4 保護者による「さよなら、声かけ当番」は、今年で19年目になりました。わが子だけではなく、地域の子どもたちの様子を知る良い機会となっています。「子どもたちを見守る」この素晴らしい取り組みを、ぜひ継続していただきたいと思います。
- 5 学校を取り巻くいろいろな環境が、年々、整備かつ改善されていることを評価いたします。なお、継続する課題につきましては、引き続き検討をお願いします。

学校関係者評価委員会	委員長	黒木 美枝
	委 員	横光 香里
	委 員	中村 説子
	委 員	森 奈弓
	委 員	三島 祥子
	委 員	三橋 由季